

連続シンポジウム「現代日本の格差と貧困－2007年－」
第1回「現代日本の経済格差」 2007年12月4日火曜日

論点提起

長尾謙吉（経済地理学、地域経済論）

格差の地理的様相	大都市圏（東京大都市圏）対地方・・・古くから論評多数 大都市圏の内部では？・・・本重点研究で取組み
大都市圏の構成	中心都市の都心部、都心周辺部（inner city）、郊外
合衆国との比較	貧困指標の明確度 経済的メカニズムと封建的・身分的格差の並存 地理的分化と混在、移住頻度と都市計画規制
雇用	サービス業へのシフトと製造業の衰退 「グローバル都市」ニューヨークこそ例外か？ 専門職・技術職就業者の動向
消費	消費の階層分化 ウォールマート化
教育	ZIPコード（郵便番号）の地理 公立学校の役割、東京大都市圏における教育格差
展望	経済格差と産業発展 土地資産と少子化

<参考文献>

大塚秀之『格差国家アメリカ』大月書店、2007年。

サスキア・サッセン著、鈴木淑美訳「グローバル・シティ」『現代思想』第31巻第5号、
2003年。

橋本俊詔『格差社会 何が問題なのか』岩波新書、2006年。

豊田哲也「社会階層分極化と都市圏の空間構造」『日本都市社会学年報』第25巻、2007年。

長尾謙吉「大都市圏経済の再編と産業集積」小玉徹編『大都市圏再編への構想』東京大学
出版会、2002年。

三浦展『格差が遺伝する！』宝島新書、2007年。